

⚠ 国内でランピースキン病が発生しました ⚠

国内で、2024年11月に発生が確認されました。

ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病で、**届出伝染病**に指定されています。

主に、蚊・ハエ・ダニの媒介による機械的伝搬や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

感染したときの症状

【症状】

全身の皮膚結節
泌乳量の低下
発熱、鼻汁など

【対策】

発症牛の隔離
移動の自粛又は淘汰

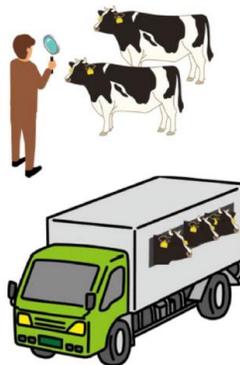


写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ランピースキン病の侵入防止対策

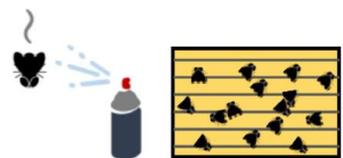
01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、
粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。